

ねんご たろう かつやく
1年後、バス太郎の活躍により、
おお きぎょう がっこう りよう
多くの企業や学校では、みんなでバスを利用する
たろう ひ せいてい
「バス太郎の日」が制定されました。
りよう ひと ふ まち ある ひと ふ
バスを利用する人が増え、街を歩く人も増え、
あたらし みせ こうえん はし えんせん まち
新しいお店や公園など、バスが走る沿線の街は
かつき と もと
活気を取り戻したのです!

すうねんご りようしゃ ふ
数年後、バスの利用者はさらに増え、
あさ じゅうたい
朝の渋滞もスッキリ!

まち くうき きれい
街の空気も綺麗になったのか、
えんせん おお しょくぶつ ふ そら ことり と か
沿線には多くの植物が増え、空には小鳥たちが飛び交い、
かんきょう やさ まち よみがえ えがお く
環境にも優しい街が蘇り、みんな笑顔で暮らしたとき。

じょうきやくどうし ささ あ しゃない えがお
乗客同士が支え合い、車内には笑顔があふれ、
ある じかん ふ まち けんこう
歩く時間が増えて、街のみんなが健康に!
まち げんき そんざい か
街の元気には、バスの存在が欠かせなかったのです。

めでたし、めでたし。

